

平成24年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月5日

上場会社名 株式会社 エスプール
 コード番号 2471 URL <http://www.spool.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 浦上 壮平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 佐藤 英朗

TEL 03-3517-6633

四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第2四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第2四半期	2,551	△13.1	23	367.9	17	—	5	△86.2
23年11月期第2四半期	2,937	6.6	5	—	△3	—	40	—

(注) 包括利益 24年11月期第2四半期 5百万円 (△86.2%) 23年11月期第2四半期 40百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第2四半期	217.45	—
23年11月期第2四半期	1,580.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第2四半期	1,206	179	14.8
23年11月期	1,100	173	15.8

(参考) 自己資本 24年11月期第2四半期 178百万円 23年11月期 173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年11月期	—	0.00	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	5,200	△6.0	90	177.7	80	351.8	62	△69.8	2,425.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期2Q	25,834 株	23年11月期	25,834 株
② 期末自己株式数	24年11月期2Q	— 株	23年11月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期2Q	25,834 株	23年11月期2Q	25,834 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。
・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
・平成24年7月6日(金)……アナリスト向け決算説明会
・上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、欧州の債務危機の拡大や円高の進行、電力不足等の懸念材料があるものの、全体としては景気持ち直しの動きが見られました。復興需要の本格化、公共投資やエコカー補助金復活による乗用車販売増加等による内需のみでなく、外需も底堅く推移しており、輸出にも回復傾向が見られます。一方、雇用情勢については、失業率が高水準で推移するなど依然一進一退の状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、当期の事業方針に従って、人材派遣サービスの積極的拡大のための準備、アウトソーシングサービスの体制整備、そして新規サービスの展開を推し進めて参りました。収益面では、前連結会計年度に売却したシステム事業及びパフォーマンス・コンサルティング事業の影響により減収となったものの、人材ソリューション事業の売上増加と売上総利益率の改善により増益を確保しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,551,544千円（前年同四半期比13.1%減）、営業利益は23,927千円（前年同四半期比367.9%増）、経常利益は17,540千円（前年同四半期は3,406千円の経常損失）となりました。また、前第2四半期連結累計期間においては特別利益に計上した関係会社株式売却益の影響がありましたが、当第2四半期連結累計期間においては特別な事象はありませんでした。その結果、四半期純利益は5,617千円（前年同四半期比86.2%減）となりました。

平成24年11月期 第2四半期連結累計期間 連結業績

(単位：千円)	平成23年11月期 第2四半期	平成24年11月期 第2四半期	増減率
売上高	2,937,734	2,551,544	△13.1
営業損益	5,113	23,927	367.9
経常損益	△3,406	17,540	—
四半期純損益	40,821	5,617	△86.2

当第2四半期連結累計期間のセグメント業績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

主に、株式会社エスプールにてロジスティクスアウトソーシング、キャンペーンアウトソーシング等のサービスを提供しています。

当第2四半期連結累計期間においては、ロジスティクスアウトソーシングの体制整備、障がい者雇用支援サービス及び顧問派遣サービスといった新規サービスの収益化に注力して参りました。新規サービスが収益化に至らなかったほか、キャンペーンアウトソーシングにおいて大型案件がなく、売上については伸び悩みました。また、損益面においては、主力のロジスティクスアウトソーシングサービスの売上総利益率が生産性の向上により改善しましたが、減収の影響が大きく減益となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は861,014千円（前年同四半期比17.8%減）、営業利益は41,564千円（前年同四半期比29.2%減）となりました。

②人材ソリューション事業

株式会社エスプールヒューマンソリューションズにおいて、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しています。

当第2四半期連結累計期間においては、地方におけるコールセンター業務及びクレジットカードの会員獲得業務が好調に推移しました。また、携帯電話販売支援業務拡大に備え、人員及び組織の整備・強化を進めたほか、登録スタッフ募集費を増加させました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,746,859千円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益は157,387千円（前年同四半期比18.9%増）となりました。

平成24年11月期 第2四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高（単位：千円）	平成23年11月期 第2四半期	平成24年11月期 第2四半期	増減率
報告セグメント	3,095,739	2,607,873	△15.8%
ビジネスソリューション事業	1,047,081	861,014	△17.8%
人材ソリューション事業	1,586,925	1,746,859	10.1%
システム事業	401,919	—	△100.0%
パフォーマンス・コンサルティング事業	59,813	—	△100.0%
その他	8,081	8,287	2.5%
調整額	△166,086	△64,617	—
合計	2,937,734	2,551,544	△13.1%

営業利益（単位：千円）	平成23年11月期 第2四半期	平成24年11月期 第2四半期	増減率
報告セグメント	170,339	198,952	16.8%
ビジネスソリューション事業	58,719	41,564	△29.2%
人材ソリューション事業	132,383	157,387	18.9%
システム事業	6,959	—	△100.0%
パフォーマンス・コンサルティング事業	△27,722	—	—
その他	△6,437	△3,062	—
調整額	△158,788	△171,963	—
合計	5,113	23,927	367.9%

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(i) 財政状態の分析

①資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から106,643千円増加(9.7%増)し、1,206,705千円となりました。当第2四半期連結累計期間においては、流動性の確保のために預金の積み増しを行っております。これにより、現金及び預金が98,526千円増加し、これが総資産増加の主要因となっております。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末から100,543千円増加(10.8%増)し、1,027,266千円となりました。前述のとおり、流動性確保を目的として預金の積み増しを行ったため、結果として短期借入金や長期借入金といった有利子負債が160,202千円増加しました。一方、納税や支払により、未払法人税等が26,243千円、買掛金が26,706千円、それぞれ減少しました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末から6,100千円増加(3.5%増)し、179,438千円となりました。これは、主に四半期純利益5,617千円を計上したためであります。

(ii) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から109,526千円増加し、518,524千円となりました。

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、64,578千円の支出(前年同四半期は64,224千円の収入)となりました。税金等調整前四半期純利益が前年同四半期と比較して18,551千円減少して15,190千円(前年同四半期比55.0%減)でありましたが、これに、法人税等の支払額34,812千円、仕入債務の減少額26,706千円、売上債権の増加額25,376千円、賞与引当金の増加額20,836千円、未払費用の減少額14,766千円、貸倒引当金の増加額13,795千円等の調整が加わったためであります。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、13,421千円の収入(前年同四半期は49,264千円の収入)となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入20,000千円、有形固定資産の取得による支出5,371千円によるものであります。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、160,683千円の収入(前年同四半期は120,461千円の支出)となりました。主な内訳は、短期借入金の増加額82,980千円、長期借入れによる収入100,000千円、社債の償還による支出20,000千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

人材派遣サービス、ロジスティクスアウトソーシングといった主力サービスは概ね計画通りに推移しております。なお、当社グループが行う人材派遣サービスに適用のある労働者派遣法改正の施行が平成24年10月に予定されており、当社グループの事業に対しても何らかの影響があるものと考えております。現在、労働政策審議会において関連する政省令や施行規則等の改正が議論されておりますが、現時点では当社グループを取り巻く環境に大きな変化はなく、期初の事業方針を粛々と実行して参ります。従いまして、平成24年1月12日に発表いたしました平成24年11月期の連結業績予想について、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 追加情報

① 「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

② 「連結納税制度」の適用

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	448,997	547,524
受取手形及び売掛金	466,468	491,845
商品	9,507	8,814
仕掛品	1,247	2,719
その他	71,682	73,072
貸倒引当金	△6,128	△15,780
流動資産合計	991,775	1,108,195
固定資産		
有形固定資産	27,027	26,207
無形固定資産	8,612	6,887
投資その他の資産		
その他	79,938	76,849
貸倒引当金	△7,291	△11,434
投資その他の資産合計	72,646	65,414
固定資産合計	108,286	98,509
資産合計	1,100,061	1,206,705
負債の部		
流動負債		
買掛金	58,300	31,594
短期借入金	390,000	472,980
1年内返済予定の長期借入金	—	33,336
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	38,018	11,774
未払費用	181,221	166,418
賞与引当金	13,882	34,718
その他	145,299	132,558
流動負債合計	866,723	923,380
固定負債		
社債	60,000	40,000
長期借入金	—	63,886
固定負債合計	60,000	103,886
負債合計	926,723	1,027,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	150,000	150,000
利益剰余金	23,337	28,955
株主資本合計	173,337	178,955
新株予約権	—	482
純資産合計	173,337	179,438
負債純資産合計	1,100,061	1,206,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
売上高	2,937,734	2,551,544
売上原価	2,295,470	1,964,990
売上総利益	642,264	586,553
販売費及び一般管理費	637,151	562,626
営業利益	5,113	23,927
営業外収益		
受取利息	53	64
持分法による投資利益	—	561
法人税等還付加算金	934	—
その他	118	57
営業外収益合計	1,106	682
営業外費用		
支払利息	7,744	5,420
社債利息	1,356	948
その他	524	700
営業外費用合計	9,626	7,069
経常利益又は経常損失(△)	△3,406	17,540
特別利益		
関係会社株式売却益	43,060	—
特別利益合計	43,060	—
特別損失		
固定資産除却損	5,911	2,350
特別損失合計	5,911	2,350
税金等調整前四半期純利益	33,742	15,190
法人税、住民税及び事業税	6,006	8,738
法人税等調整額	△12,869	834
法人税等合計	△6,862	9,572
少数株主損益調整前四半期純利益	40,604	5,617
少数株主損失(△)	△216	—
四半期純利益	40,821	5,617

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	40,604	5,617
四半期包括利益	40,604	5,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,821	5,617
少数株主に係る四半期包括利益	△216	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,742	15,190
減価償却費	15,288	5,354
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,009	13,795
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28,174	20,836
受取利息及び受取配当金	△53	△64
支払利息及び社債利息	9,101	6,369
持分法による投資損益 (△は益)	—	△561
関係会社株式売却損益 (△は益)	△43,060	—
固定資産除却損	5,911	2,350
売上債権の増減額 (△は増加)	44,377	△25,376
たな卸資産の増減額 (△は増加)	25,919	△779
仕入債務の増減額 (△は減少)	△39,220	△26,706
未払費用の増減額 (△は減少)	△37,520	△14,766
その他	42,675	△18,530
小計	87,345	△22,888
利息及び配当金の受取額	53	64
利息の支払額	△9,534	△6,941
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△13,639	△34,812
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,224	△64,578
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23,636	△5,371
無形固定資産の取得による支出	△2,308	—
定期預金の払戻による収入	—	20,000
敷金及び保証金の差入による支出	△446	△3,359
敷金及び保証金の回収による収入	19,828	2,152
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	55,827	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	49,264	13,421
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△60,000	82,980
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△40,000	△2,778
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
リース債務の返済による支出	△442	—
その他	△18	481
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,461	160,683
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,972	109,526
現金及び現金同等物の期首残高	465,681	408,997
現金及び現金同等物の四半期末残高	458,709	518,524

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビジネスリ ューション 事業	人材ソリュ ーション 事業	システム 事業	パフォーマ ンス・コン サルティン グ事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	1,024,002	1,454,871	391,371	59,723	2,929,968	7,766	-	2,937,734
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替 高	23,079	132,053	10,548	90	165,771	315	△166,086	-
計	1,047,081	1,586,925	401,919	59,813	3,095,739	8,081	△166,086	2,937,734
セグメント利益 又は損失 (△)	58,719	132,383	6,959	△27,722	170,339	△6,437	△158,788	5,113

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイル・マーケティング事業であります。

2. セグメント利益の調整額△158,788千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△158,712千円及びセグメント間取引消去△76千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. パフォーマンス・コンサルティング事業については、第1四半期連結会計期間末にて株式会社エスプール総合研究所を連結の範囲から除外しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビジネスリ ューション 事業	人材ソリュ ーション 事業	計			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	848,276	1,694,980	2,543,256	8,287	-	2,551,544
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替 高	12,738	51,878	64,617	-	△64,617	-
計	861,014	1,746,859	2,607,873	8,287	△64,617	2,551,544
セグメント利益 又は損失 (△)	41,564	157,387	198,952	△3,062	△171,963	23,927

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイル・マーケティング事業であります。

2. セグメント利益の調整額△171,963千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△172,390千円及びセグメント間取引消去427千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前連結会計年度にてパフォーマンス・コンサルティング事業を行っていた株式会社エスプール総合研究所の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。これにより同事業セグメントを廃止しております。

5. 前連結会計年度にてシステム事業を行っていた株式会社G I Mの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。これにより同事業セグメントを廃止しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。